

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目    款：衛生費    項：保健予防費    目：精神保健費

### 事業名    新就職氷河期のひきこもり支援推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部    保健医療課    精神保健福祉係    電話番号：058-272-1111(内 4806)

E-mail： [c11223@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11223@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費                    2,340 千円 (前年度予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費   | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |       | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 0     | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 要求額 | 2,340 | 1,755      | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 585        |
| 決定額 | 2,340 | 2,340      | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

内閣府の調査では、若年層<sup>※1</sup>及び中高年層<sup>※2</sup>のひきこもりが約115万人を超えと言われ、ひきこもりの長期化と高齢化が社会問題となっている。

ひきこもりの状態が長期化すると、年齢に応じた社会体験の機会が奪われ、自立した生活が困難となり、生活保護者の増加につながる可能性が高い。

岐阜県では平成28年6月に精神保健福祉センター内に「ひきこもり地域支援センター」(以下「センター」という。)を開設し、関係機関と連携した支援を展開しているが、居場所事業に参加されているなど社会参加の試行段階の方に対し、自立に向けた支援が進められていない。

このため、令和4年度は、就職氷河期世代で社会参加の試行段階の方に対して、本人にあった社会参加、就労活動ができるようアセスメントを行い、相談、伴走型支援をしていくことで、より社会参加、就労活動に近づける施策を展開していく。

※1：2015年調査    ※2：2018年調査

(2) 事業内容

- 社会参加アセスメント事業
  - ア 相談・伴走型支援事業
  - イ オンライン相談事業

(3) 県負担・補助率の考え方 国 3 / 4 県 1 / 4

(4) 類似事業の有無 無し

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額    | 事業内容の詳細          |
|------|-------|------------------|
| 委託料  | 2,340 | 相談・伴走型支援、オンライン相談 |
| 合計   | 2,340 |                  |

**決定額の考え方**

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

厚生労働省「地域就職氷河期世代支援加速化交付金交付要綱」に基づき実施

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

|  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業            |

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 ひきこもりに悩む就職氷河期世代の方に対し、本人にあった社会参加ができるようにすることを目的に、社会参加に向けたアセスメントを行い、相談・伴走型支援をしていくことで、社会参加、就労活動につなげていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 終期目標 | 達成率 |
|-----|-------|------|------|------|------|-----|
|     | (R)   | 実績   | 目標   | 目標   | (R)  |     |
| ①   |       |      |      |      |      | %   |
| ②   |       |      |      |      |      | %   |

○指標を設定することができない場合の理由

アセスメントを中心とした業務のため、目標値を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

|       |   |
|-------|---|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。  |
| 令和3年度 | <p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p> |
| 令和4年度 | <p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p> |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|   |  |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）<br/>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>  |  |
| (評価)  |  |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）<br/>3：期待以上の成果あり<br/>2：期待どおりの成果あり<br/>1：期待どおりの成果が得られていない<br/>0：ほとんど成果が得られていない</p> |  |
| (評価)  |  |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）<br/>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>  |  |
| (評価)  |  |

### (今後の課題)

|  |
|--|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項<br/>ひきこもり支援の相談、居場所事業に参加された方が、自分に適した社会参加、就労活動ができるよう支援していく必要がある。</p> |
|--|

### (次年度の方向性)

|   |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br/>ひきこもり支援の相談、居場所事業に参加された方が、自分に適した社会参加、就労活動ができるようにするため、継続して社会参加に向けたアセスメントを行い、その評価に基づいた相談及び伴走型支援をしていく。</p> |
|---|

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

|                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> |              |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>     | <p>【〇〇課】</p> |